

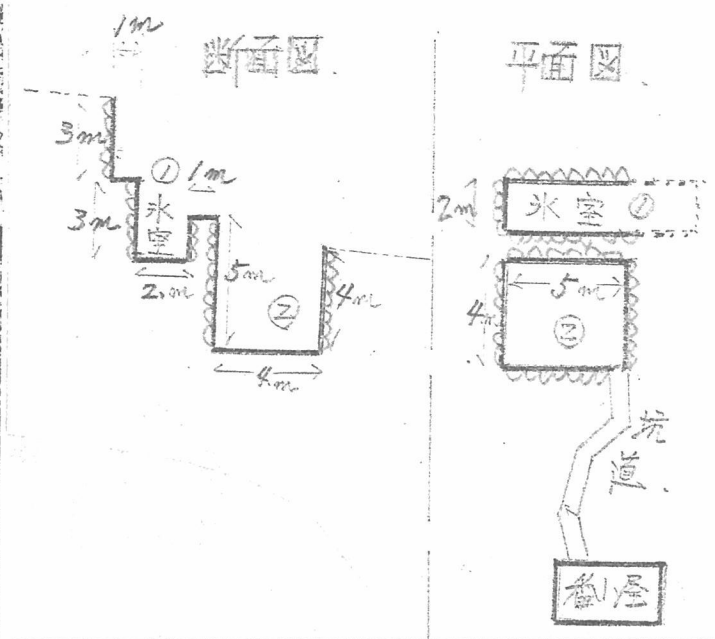
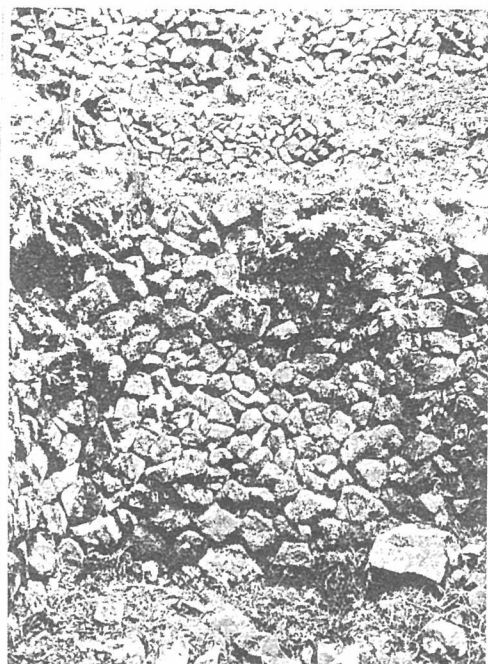
公民館だより

No. 78

ひがしの

2003. 7.

人口 1,840 人
(男) 900 人
(女) 940 人
世帯数 550 戸
(H15.7.1 現在)



山本風穴（やまもとふうけつ）整備

何時の日か埋もれ、忘れ去られてしまうかもしれない遺跡、史跡、-----向島の“山本風穴”もその一つとなってしまうかもしれない。

蚕種の貯蔵にはそれまで神坂の風穴を利用していたが距離的に大変であった、明治36年（1903）、この山本風穴が発見されたことにより、東野の蚕種製造が大きく発展したといわれる産業遺産である。

明治36年----奇しくも今から100年前この場所を発見、構築がなされた、風穴は夏でも摂氏1度以下が求められており（現代の冷蔵庫）、そのために氷室（ひむろ）を構築して冬季阿木川で結氷した自然氷を入れる工夫もされている。

今年6月1日、山林所有者の快諾を頂き、今年新たに発足した「東野公民館運営協力委員会」（篠原佳昭代表）の方々により、この風穴の周辺整備がおこなわれた。

室内（むろ）、石積の間に生えた立木の伐採、積もった木の葉の除去等----

100年前に先人の建設した遺跡を今“復元”と行かなくても、周辺の整備により往時の氷室、貯蔵庫、番小屋、坑道（通路）等の跡が見学しやすくなった。

一度踏査してみてもは-----夏でも涼しく感じます。

寄稿

私の原風景

恵那市立東野小学校長 水谷 博光



今年度、大垣市立南中学校より、自然と歴史、そして、人情豊かな地・東野小学校に転任してまいりました。よろしくお願いいたします。雑感になりますが、こゝあさつを兼ね、「私の原風景」と題して、公民館だよりに寄稿させていただきます。

最近のことですが、転勤を機にわが家の書棚を整理していましたが、四十数年前の文集「綴り方とエッチング集」が出てきました。それは、私が小学校三年生の時の文集（当時は、綴り方が盛んで、私たちは、日々、生活に根づいたエッチングを作成し、作文に綴った。）です。

「ぼくと牛」「どろセミとり」「肩たたき」「ふろたき」「肥やしかけ」
今となつては、日本の原風景を感じる題材

ばかりです。

手を休め、久しぶりに読み返していると、当時の様子が、郷愁とともに思い出され、程よい心のやすらぎを感じました。

学校の南は田が広がり、春になるとれんげ畑が養老山のふもとまで広がっていた。祖母に連れられて、つばやセリを採りに行った。蜜蜂の大群に襲われもした。

学校の玄関前には、二宮尊徳像があり、校長先生は二宮尊徳の話が得意であった。おかげで本は良く読んだ。（四年生頃になると、車が多くなり、本を読みながら帰るのはいけないと指導された。）

学校の東方に一里塚と大きな神社があり、そこは子供が遊ぶ原っぱだった。適当な太さの枝をバットにして、野球もやったし、時に、少し危険な遊びもした。上級生は、遊びをリードし、怖い存在だったけれど、頼りになる大将でもあった。

時代は移り、子供たちが遊ぶ環境も大きく変わってきました。テレビゲーム、インターネットなど、様々な情報機器と向き合う時間

も多くなりました。交通機関が発達し、随分便利になり、その分、生活の様式も大きく変わりました。東野の地も同様です。

それでも、やがて、今の子供たちも、今ある風景や生活を懐かしく思い、自分の原風景として、次の世代に語り継ぐ日が来るでしょう。



今、東野小では、「ふるさとやふるさとの人に学ぶ」授業や活動をとくさん行っています。飯沼川での川遊びや写真にあるさつまいも栽培もその一つです。

子供たちがそういった授業や活動を通して、私の原風景として何かしらを心の奥にそっとしまってくれればと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

かな書道

かな書道講座 渡辺 修

私は退職したら書道を基本から習うのが夢でした。

終戦後、昭和二十三年中学一年の時、一ヶ月に一度、新聞紙を使つての習字の授業は、なんともわびしく、美しい紙で書きたいな、と思つた事を今でも覚えています。

かな書道講座は総勢一名。隔週土曜日十九時三十分より二時間学んでいます。

最初講座で手本をいただいた時、この時は何と書いてあるか解らず、先生に聞き解説していただきました。年を取ると記憶力は鈍り、手は動かず、字は忘れ、腰は痛くなるが、少しでも上手に書ける様にと頑張っています。

先生曰く、“の”と“し”の二字が巧く書けるようになれば早く上達すると云われました。なかなかそういう訳にはいきませんが、書道を学んで感じたことは、第一に集中力の持続、第二に頭と手を使つてのボケ防止、第三は字が少しでも上手になれば更によいと考えております。

本年の目標は、年賀状を小筆で書ける様に今から頑張りたいと思います。

マスコット作りこうざ

東野小四年生 堀江 友香

今回のマスコット作品は、バスケット人形と花びんとびんと絵を作りました。

バスケット人形は時間がかったけど、ふくがかんたんにつけられて、人形の顔がむつかしかった。でも先生がていねいに教えてくれました。

花びんは紙を丸くするのに時間がかかりました。

びんに絵をかくときはかんたんでした。

私はマスコット作りは今度で三回目ですが、また次にも土曜日の子どもこうざに参加したいです。



笑って歌えば心ははればれ

心晴歌講座 可知許子(大井町)

東野公民館での月二回の「心晴歌」講座に行くことが、私の元気のもとです。

皆さんとお仲間にしていただいてから、四期目をむかえます。

この講座の他にはない楽しいところは、すべてのジャンルの音楽にふれ、楽しめることです。昔なつかし小学唱歌・歌曲・ジャズ・演歌と、私共のヘタな歌も、先生のアコーディオンのステキな伴奏にみちびかれ、何だかうまくなったような気分であつてしまいます。

もう一つは、水野先生の温かいお人柄と音楽、いや人生全般にわたる深いうん蓄のあるおはなしが、うかがえることです。

ワツハハとみんなで笑いころげながら、目に光るものをそつとぬぐう私共です。

ヨイショと腰をのばし、歌の心を思いながら大声でみんなで歌う時が、一番楽しく幸せな時です。



少年の主張大会

六月十四日に第二十五回恵那市「少年の主張大会」が行われ、市内三中学校より代表四名がつ出場し、意見発表しました。東中学校からは、東野小出身の足立美紗さんが出場され、優良賞を受賞されました。

以下発表内容

恵那市の点字

恵那東中2年 足立美紗

私は小学校の時、点字クラブに入っていました。最初は、ただ点字がものめずらしく、「暗号みたいな文字を、解読してみたいな」と軽い気持ちで始めました。

ところが、クラブで点字の意味や読み方などを習ううちに、「点字って、しくみは簡単なのに、結構むずかしい。もつといろいろな点字を読んてみたい!」と、思うようになりました。

そこで、小学校五年の夏休み、私は身のまわりの点字を調べてみることにしました。

最初は、恵那駅から点字ブロックをたどつてみることにしました。ところが、中央通りまでいくと、なんと、点字ブロックの上に、何台もの車がのつていたのです。もし、ここを目の見えない方が通ったら、車にぶつかってしまいそうです。「これはとても危ない!」と思いました。

少し行くと、アメリカカの隣に、三日月形の点字案内板がありました。店の名前などが点字で書いてあって、とてもいいものだと思います。ただ、案内板の前を、点字ブロックが通りすぎているので、気づかずに歩いていつてしまっているのではないかと、思いました。これでは、意味がありません。

点字ブロックをたどつていくと、バローの横の、横断歩道を渡った所までで途切れていました。また、市役所のまわりにもありませんが、歩道が細いところには、ありませんでした。

このとき、恵那市の点字を調べてみて思ったのは、「点字が少ない!」ということと、「点字を作るだけではだめだ!」ということでした。

夏休み、祖父の家へ行くとき、金山駅と豊橋駅を利用しました。この二つの駅は、ブロックも案内板も、とても充実していました。歩道は、町のいたる所まで続いています。しかも、途切れていません。他の町から訪ねて来られた、目の不自由な方も、安心して町を歩くことができそうです。

しかし、三年前に調べた時よりも、恵那の点字に対する見方は、よくなっていると思います。この前、部活で多治見に行くときに、久しぶりに恵那駅を利用しました。すると、前調べた時はなかった、黄色い点字料金表ができていました。また、前よりもあまり、点字ブロックの上ののつた看板などを見かけなくなりました。美術館の入り口にも、灰色ではありますが、点字ブロックがついています。

恵那市はこれからも、どんどん変つていきます。新しい施設を作ったり、今ある施設を充実させたりします。それは、恵那市民全員が、過ごしやすいするためのことです。そして当然、障害のある方にも、私たち健常者と同じようにそれを利用できるように、工夫することも進められます。そのためには、点字ブロックや案内板などの設備を、どんどん充実させていくことは、いうまでもありません。

また、みんなが仲良く気持ち良く暮らすようにするために、もちろん点字設備をただつく

るだけではだめです。せつかく作った点字ですから、いつも使いやすいように、市民みんなが気を配ることが大切です。点字ブロックの上に車を止める人には、その危険さがわかってもらえないのでしょうか。そこで、「ここに止めたら迷惑になるな」と考えてくれたら、ずいぶん安全になると思います。

そして、私にできそうなこと。

恵那駅の切符売り場の点字。多くの方がさわれます。気持ち良く使ってもらえるために、きれいによごれをふきに行きたいです。

7月は

「青少年の非行問題に取り組む全国強調月刊」です。

7月1日〜7月31日

「青少年 地域で守ろう 育てよう」

21世紀を担うのは今の子どもたちです

青少年の心を育てるキャンペーン

“大人が変われば、子どもも変わる”

「家族そろってご飯を食べよう」

「親として善悪のルールを教えよう」

「地域での活動に参加しよう」

“社会を明るくする運動” 強調月刊

「ふれあいと 対話が築く 明るい社会」

恵那地区保護司会・恵那市青少年育成市民会議・

恵那市少年補導センター

行政視察より

今年も五月三十日、行政視察が行われた。

この目的は、地域に分散している市の行政施設（事務所、公民館、幼、小学校等）の管理、運営状況を把握し、又、主要事業の進捗状況を確認するものであります。又、同日、地域懇談会も行われ、地区内の懸案事項の事業化要望（別記）、市側から回答あった。（回答は「広報えな」にて）

地域要望発言要旨

番号	要 望 事 項	発 言 者
1	道路関係要望について ①市道花無山線（阿木川大橋手前、阿木境）の道路改良及び国道257号線交差点に信号機・横断歩道・規制看板設置 ②袖畑笠作線（小学校西）の歩道付道路改良 ③県道阿木大井線と市道干橋宮の前線交差点（岡田さん前）及び市道干橋一市道干橋宮の前線交差点（スポーツエナジー工場裏）に横断歩道・規制看板設置 ④市道小麦田花無山線及び東野支所前線側溝修繕 ⑤市道小麦田花無山線と国道257号との間に信号機設置	東野開発振興会会長 伊藤 明
2	上下水道関係について ①小野川地区の上下水道及び下水道の早期事業化 ②白坂地区の下水道の早期着手 ③東野地区農業集落排水事業の地元負担金7%を5%に引き下げ	東野開発振興会 副会長 飯田 新蔵

7	6	5	4	3
河川関係について ①普通河川遠郷川上流の河川改修工事 ②一級河川飯沼川廣田神社付近の河川改修工事 ③下戸川から上正家へ渡る阿木川架橋の事業化	林道舗装整備について ○花無線・道上林道の急斜面・カーブの舗装 ○番屋林道の整備について ①林道の一部舗装 ②落石防止柵 ③林道の一部拡幅	道路舗装について ①白坂四号線並びの市道等の舗装工事 ②白坂林道の舗装工事	一級河川飯沼川才勝用水取り入れ口下堰堤補修	東野開発振興会 副会長 足立 智胤
東野上組生産森林組合長 三宅 正美	東野下組生産森林組合長 千藤 政治	飯沼川用水管理組合長 依馬 和昌	東野生産森林組合長 与合 和武	

同日夜には「市町村合併住民説明会」が東野公民館で行われた。（広報7月号記載）

説明後の質問、意見の要旨は

- 合併により地方交付税はどうなるか
- 合併後の「まち」はどのようなものか
- 乳幼児医療の無料化はどのようなものか
- 恵那病院の充実、交通アクセス整備

等であったが、いずれもまだまだ調整中の部分が多く今後八月頃には調整が終わるようです。それぞれの市町村に歴史があり、経過があつて現在がある、難しい調整が計られるわけである。今後の広報「えな」等により情報を正確に得て『平成の合併』がどのようなものか歴史の証人として関心をもって見守りたい。

むすのわたい

六月二十七日、元名古屋鉄道教習所中等部の人たち十二名が思い出の地東野を訪ねられた。

縁あって地内を案内させて頂いた、中には五十八年ぶりとかの人も……八坂神社、もとの吊り橋（現高襟橋）、衣裳屋さん……「衣裳を借りて劇をやった」「このあたりの家で手伝いをしてお米を頂いた」……等々想い出に感涙されていた。

思えば少し古い話である、昭和二十年五月、名古屋鉄道教習所中等部（電気科）の人達三十数名が空襲を逃れ東野の農家に疎開された。

国鉄の現場を経験された方、国民学校からいきなり入所した十四五歳（今の中学生）の人。出身地も愛知、静岡、石川、山梨等であった。

疎開といっても他の寮の上級生との規律訓練、教練、訓示等厳しい日課と、ビンタ、空腹、望郷の涙もあった。

この他にも桑の木堀等の勤労奉仕の毎日……等辛い毎日であったとお聞きした

それにしても……僅か数ヶ月間の共同生活をされた皆さんが五十八年を経ても東野を訪れ、懐かしみ、生徒寮の家では仏前に花を供えられた。

その絆の深さ、何がそうさせるであろうか、当時、互いに助け合い、励ましあつて、いかに一日一日を大切に過ごされた仲間であつたか想像される。

東野には他にも土木科、機械科、教員寮、教室等に提供されていた家屋があつた、忘れ去られる昭和年代東野史の一つである。

梅雨の晴れ間の爽やかな一日であつた。

ホタルまつり

今年のホタル祭は梅雨の晴れ間に恵まれ、待っていたかのように多くの人の参加がありました。

名物となった子どもおもちゃとホタル版画、おもちゃは昨年に続いて東雲会婦人部が担当され早々に完売、版画は昨年同様吉村茂夫様のオリジナルですが今年は二版摺りです、一回目、二回目と変っていく景色が楽しみです。

自分で刷った完成品に大喜び。

青少年育成会、振興会、東雲会、交通安全協会、等で構成された実行委員会……地域一体となった動植物の愛護、環境保全……この延長が“ホタルの里”となり地域おこしの一端となるう

今年六月の遅い時期までホタルの飛翔が見られ、市内外の人達の姿も見られた。



吉村茂夫様版画

すくすくクラブ

五月二十三日、遠足、東野幼稚園見学を行いました。

天気も良く十四人のお母さんが出席しました。公民館を出発し、小麦田を廻り幼稚園までの道程です。大人にとって何気ない道も、子どもたちにとっては、興味を引かれる物がいっぱいです。白つめ草の花を摘んだり、水路をのぞいたり。子ども達は大人が与えるちよつとしたきつかけで新しい事を発見したり、興味を持ちたりします。大人も同じです。子どものかわいらしい一言、行動で、いつも見る風景も違って見えます。そんな事を思えた、ゆつたりとした時間でした。

幼稚園では、砂場で遊んだり、ブランコに乗ったり、思い思いの時間を過ごしました。いつもの美味しいお母さんのお弁当もみんなで食べて一層美味しかったことでしょう。

こんなすてきな機会を与えて下さった幼稚園の先生方、ありがとうございます。小さなお兄さん、お姉さん。かわいい歌と風車をありがとうございます。みんなみたいに上手に歌えるようになれるといいなあ。

六月二十七日は七夕飾りを作りました。ほほえましい願い事がいっぱい、笹の枝もたわんでいました。願い事叶うといいね。

七月は恵那市健康保健課による日常生活の応急措置講習会を行う予定です。

惠那市合併以後東野

あの日、あるとき

昭和二十九年（一九五四）四月一日、現惠那市が誕生した。長く激しい陣痛のあとであった。特に東野では協議に協議が繰り返され八番目の参入といつてもよからう。

あれから五十年目となる来年十月には惠那南部の町村との合併となる。

今までの四十九年間の東野「あの日、あるとき」を各種資料を拾い振り返ってみる。

昭和

- 二九・ 惠那市誕生人口（三〇年一月 三一、五七八）
- 三二・ 東野中学校廃校→惠那東中学校開校
- 三三・ 東野青年団演劇「若い土」全国大会出場
- 三五・ 有線放送開始
- 高襟橋（吊り橋）永久橋に
- 簡易水道完成（飯沼川以南及び小学校、農協、事務所）
- 三六・ 国鉄東野駅無人化
- 三七・ 市営保古の湖ユースホステル完成
- 三八・ 東野保育所（鉄筋）完成（現屋体位置）
- 四〇・ 惠那、東野他観光協会合併
- 慰霊塔建立
- ラジオ岐阜中継局（白坂）完成
- 袖畑、笠作農道（小学校西）
- 四三・ 小学校プール完成
- 四四・ 保古の湖人工スケート場完成
- 四五・ 茄子川農免道着工（白坂→茄子川）
- 四六・ 東野幼稚園開設
- 白坂農道（記念碑→茄子川）着工

同（駅前→記念碑）

- 四七・ 東野生産森林組合設立（三五二名）
- 惠東座解体
- 四八・ テレビ共同受信組合設立
- 白坂第二農道着（浜井場→記念碑）
- 四九・ 東野農協、蛭川農協、惠那農協に合併
- 国民休養地土地賃貸借（無償）契約
- 第一回住民運動会
- 交通公園完成（現みどり館位置）
- 五〇・ 惠那山高原国民休養地一部オープン
- （保古自然館完成）
- 五一・ 東野小学校完成
- 城ヶ根神社遷宮
- 五二・ 東野公民館完成。（東野事務所併設）
- 事務所戸籍事務電送
- 五三・ コミュニティー消防センター完成
- 農協東野支店新築
- 愛林碑建立
- 五四・ 屋下、下沢地区ほ場整備起工（一五〇）
- 五五・ 国民宿舎「惠那山荘」完成
- 宮ノ前三号線（歩行者専用道）完成
- 源吾輪ほ場整備
- 五六・ 阿木川ダム水没地補償調印（東野地内）
- 阿木川ダム工事着工。
- 五七・ 下組集会所完成
- 惠那山高原国民休養地スポーツ施設完成。（ソフトグラウンド、テニスコート等）
- 東野幼稚園舎完成
- 東野小学校屋内体育館完成
- 五八・ 九・二八災害（阿木川、飯沼川、定連寺川）

平成

- 元・ 郷土資料館建設（小学校）
- 定連寺川改修（駅前上流）
- 二・ 保古の湖溜池堤体一部崩壊
- 四・ おわご資料館完成
- 中電送電線経路変更
- 六・ 小学校グラウンド夜間照明設置
- 養蚕農家消える
- 七・ 公民館改修
- 八・ 農業集落排水対策委員会設立
- 保古の湖マレット場オープン
- 九・ 県営ほ場整備事業（東野地内）完成
- 土地改良碑建立
- 十・ 蚕業の碑建立
- 十一・ 農業集落排水組合設立
- 十三・ 農業集落排水事業着工
- 保古の湖水環境整備事業（保古の湖周遊）着工
- 慰霊塔修復
- 十四・ 市営 新火葬場花無山に決定
- 十五・ 公民館トイレ改修（決定）
- 定連寺改修（駅前下流）
- 五八・ 松の木溜池埋立て
- 五九・ 上組公会堂建築
- 六〇・ （株）明知鉄道開業
- 保古の湖結氷ワカサギ釣りにぎあう
- 六一・ 向島 「杉山の清水」岐阜県名水五十選
- 六三・ 飯沼ゴルフ場排水交渉
- 阿木川ダム堤体完成
- 国道257号開通

おしらせ



休館日 (変更の場合あり)

7月 7日・14日・21日
22日・28日
8月 4日・11日・18日
25日
9月 1日・8日・16日
22日・23日・29日

イベント日程

夏祭り 8月9日(土) 後6時～
地域環境美化
8月10日(日) 朝7時30分
住民体育祭 10月19日(日)
歌舞伎 10月26日(日)
文化祭 11月2・3日(日・祝)

夏休み子ども向け講座

子どもたちの楽しい夏休みが始まります。夏休みの思い出に公民館講座にさんかしてみませんか？

◇竹細工に挑戦◇

日時:7月30日(水)

8月 6日(水)

午前10時～12時

対象:小学4年生から

定員:20人

持ち物:手袋、ひざあて(タオル以外のぞうきん)ナイフ

◇自然観察、

草花と遊び◇

日時:8月1日(金)

午前9時東野公民館集合

対象:小学、中学生

持ち物:飲み水

服装:長袖長ズボン、
ぼうし、履きなれた靴

◇山本用水を

訪ねて◇

日時:8月5日(火)

午前9時東野公民館集合

対象:小学、中学生

持ち物:飲み水

服装:長袖長ズボン、
ぼうし、履きなれた靴

◇東野の西行伝説を

訪ねて◇

日時:7月29日(火)

午前9時東野公民館集合

対象:小学、中学生

持ち物:飲み水

服装:長袖長ズボン、
ぼうし、履きなれた靴

花無山俳句会

南天の花を護身の花とみて 鈴木抱風子
南天の葉は控え目に花燦ん 々
畑の草抜き易し梅雨湿り 足立いさむ
霧が井は梅雨にかすんで登城門 市川茶山
梅雨晴れ間庭師四人の鉄音 市川芳子
でんでん虫いつもの枝に眠りおり伊藤ひろみ
クラス会話題を占める春叙熱 伊藤道子
蔵元の風格保つ土間涼し 伊藤靖代
朴葉採る花の盛りをおどまきし 西尾筍子
母と娘が残れる齡濃紫陽花 西尾美恵子
今朝も咲く真赤な薔薇と黄バラと土方ちかえ
蓮鉢のまづはかわゆき浮き葉より松本はるか
螢飛ぶ道を選んで家路かな 千藤恵三

あとがき

“むらわだい”の「名教」のかたがたの疎開時の生徒
寮は私の生家でした。 私的な

ことに公の紙面を使うことにとどうかと、迷いつつ取
て“わだい”と取り上げてみました。

当時のご苦労はこの年代を生き抜いた人々のみ体験
された厳しい時代であり、忘れられない時代であつた
と思われる、それに比べ今は……とつい思ってしまう。

さて、今年も「夏祭り」「運動会」「文化祭」いわゆる三
大祭りが振興会を中心に、それぞれ実行委員会が構成
され、企画、準備等に入っている、まずは、如何に多
くの参加を得るか、如何に楽しんでいただけるか……の
工夫からです。まずは参加してご意見をお聞かせくだ
さい。

千藤 記